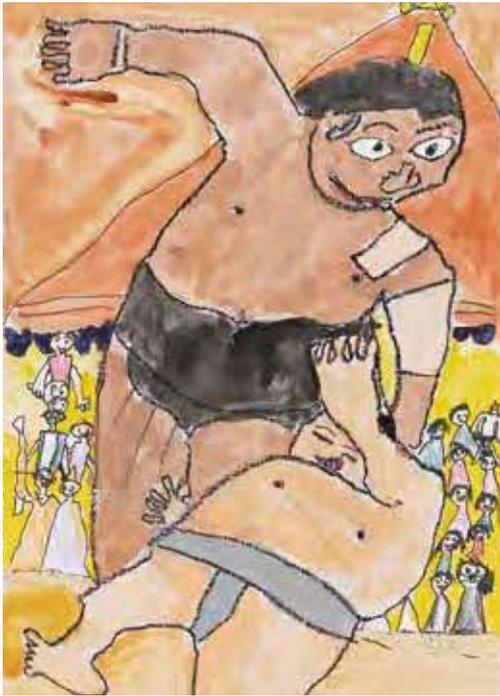


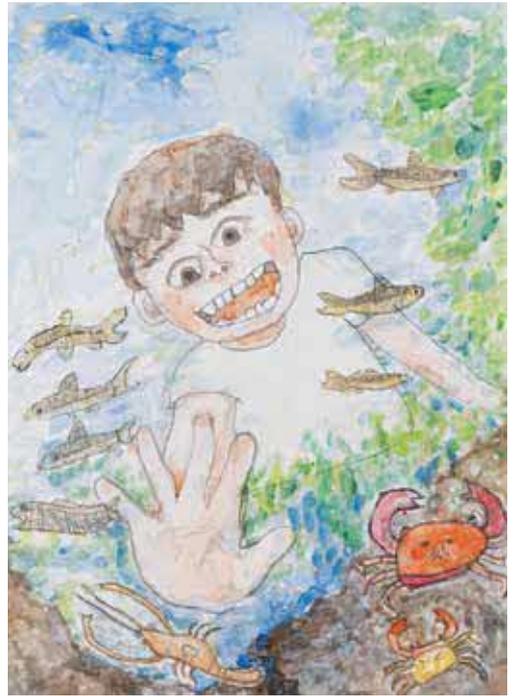
知事賞 「絵画・デザイン」



ぼくのあこがれ 伯桜鵬

船木 誠人 小2 (北栄町)

大すきな伯桜鵬関が画面いっぱい描かれています。輪郭にクレパスを使うことで、伯桜鵬関の力強さや体の大きさが強調され、より迫力のある作品となっています。伯桜鵬関の勝利にお客さんたちも大喜びです。決め技はなんだったのでしょうか、気になるところです。



ぼくのひみつの場所

安達 勸大 小3 (米子市)

透明感のある水彩特性を生かして、差し込む光の明るさや澄んだ水の様子をよく表現している作品です。明るい印象を与えながらも、何色も塗り重ねていることで画面全体が鮮やかに仕上がっています。「ひみつの場所」をのぞき込んで手を伸ばす「ぼく」の表情がよく見えるように、水の中からの視点で描かれている構図にも作者の工夫を感じられ、見ている私たちまで思わず笑顔になります。



列車がくるよ！

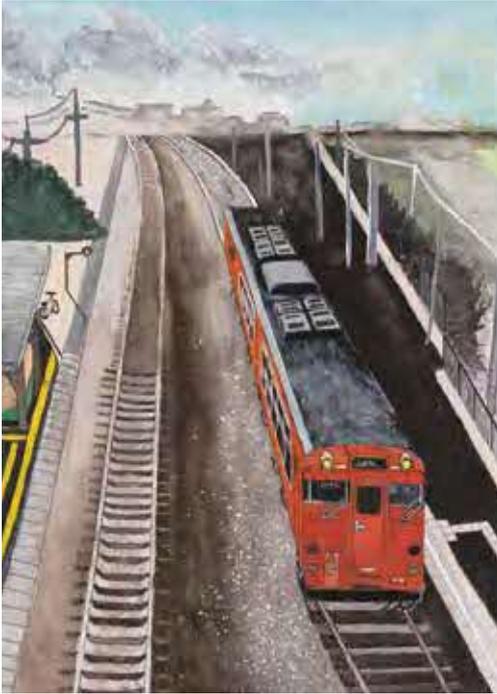
小濱 希奈 小6 (米子市)

新しく改修された駅舎の高架通路。その展望デッキから初めて見る景色を人物を含めて描いた作品です。

手前にいるのは弟でしょうか。列車の行き来を飽きることなく眺めており、その近景と広がる遠景とが画面の中うまく構成されています。

色鉛筆のみで描かれており、柔らかな画材の特徴が生かされています。また、質感の違いや明暗などの細部も丁寧に表現されています。

知事賞 「絵画・デザイン」



雨上がりの大山口駅

田中 千尋 中1 (大山町)

駅の跨線橋^{こせんきょう}から見下ろした、開放的でダイナミックな構図が目を引きます。また、画面のすみずみまで対象をしっかりと見つめて描こうとする、作者の誠実な制作姿勢が感じられます。うっすら光の射してきた空や、濡れた地面も色の濃淡を使い分けて描くことで、時間の移り変わりまで表現されています。列車のこれまで来た道とこれからの行き先を想像したくなる、臨場感ある作品になっています。



エール

井上 和奏 中3 (米子市)

大胆に区切られた構図、まるで夢の中にあるような色合い、的確な描写などから、作者の表したかった世界観やストーリーがよく表現されています。中学三年生ということで、着慣れた自分の制服でしょうか。そして画面左側に見えるのは、通い慣れた校舎かもしれませんね。題名「エール」とありますが、もしかしたら、これから中学校を卒業し、新しい世界へと出発するであろう自分へのエールかな？と様々な想像をさせてくれる作品です。

大会の朝

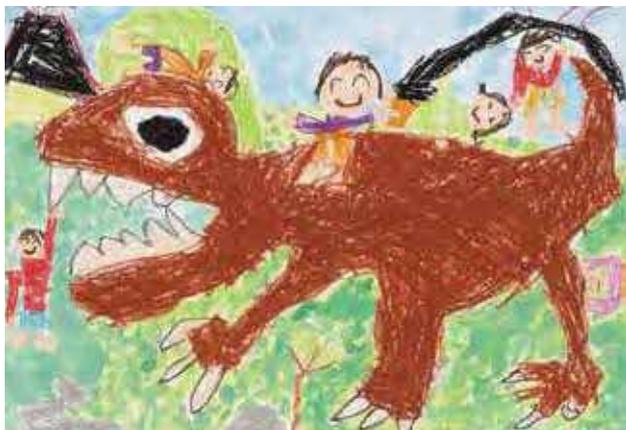
岩倉 葵 中2 (米子市)

光と影が美しい作品です。朝のまばゆい光の中、大会に向かう少年の決意のようなものが感じられます。ドラマ性がある、見るものもこの世界に引き込まれます。太陽の光の表現、人物の影はしっかり描かれ、確かな技量でよくまとめられています。

特別賞



教育長賞 「絵画・デザイン」



きょうりゅうにのった

南場 晴太 小1 (北栄町)

大きな恐竜と戯れる子どもたちのにぎやかな声が聞こえてきそうな楽しい作品です。



ようちゅうパーティー

太田 景 小1 (米子市)

たくさん集まり、パーティーを開いています。体を大きく動かし、ダンスをしているのかな。



鳥の郵便配達

古川 未華子 小2 (米子市)

にぎやかな街の様子を細かく丁寧に描いています。カラフルな鳥が幸せを運んできたような楽しい作品です。

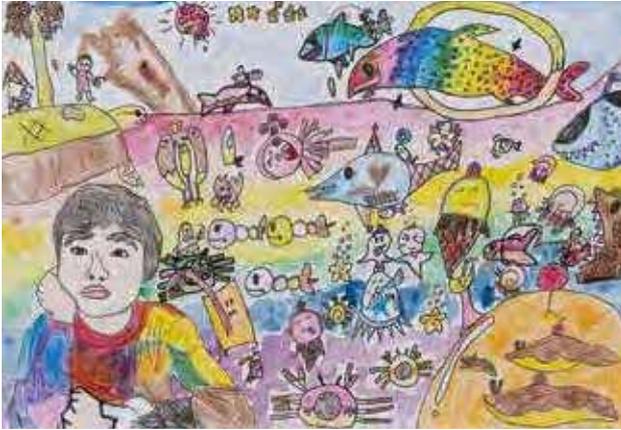


大好き、どんどろけめし

藤原 郁菜 小3 (八頭町)

地元の料理を茶碗一杯によそう構図から、給食を心待ちにする様子が伝わってきます。

教育長賞 「絵画・デザイン」



頭の中は海のパラダイス

釜谷 月歌 小4 (鳥取市)

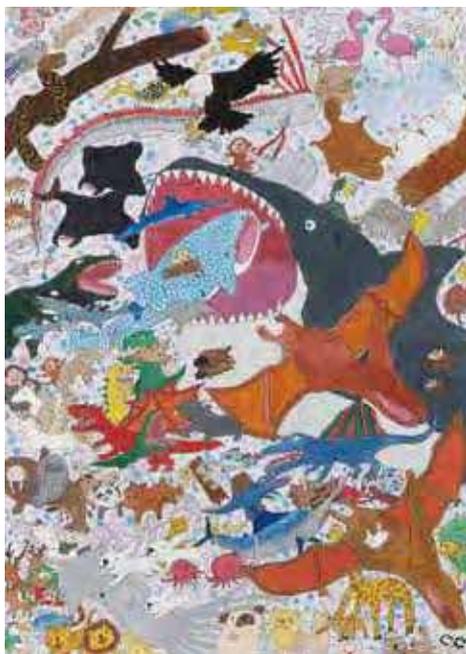
頭の中はこんなに楽しいのかと驚かされるほどカラフルでにぎやか。つい引き込まれます。



ジャングルで大ピンチ!!

山根 優芳 小4 (米子市)

色の鮮やかさと生き生きとした表情から、ジャングルの楽しい様子がよく伝わります。



共存

麻木 悠生 小5 (鳥取市)

細かく描かれた、多種多様な生き物の姿から、とても楽しい気持ちになりました。



キャンプの思い出

長山 結衣子 小6 (境港市)

人物の表情から楽しさが伝わってきます。背景の緑の鮮やかさも素晴らしいです。

教育長賞 「絵画・デザイン」



ニホントカゲを見つけたよ

渡邊 新 小6 (南部町)

トカゲとそれを持つ手は丁寧に描かれ本物のようで、画面から出てきそうです。



paradox

加藤 弘大 中1 (倉吉市)

強烈な色づかいで、作者ならではの世界観とメッセージを余すことなく発信しています。



若虎

片山 百香 中1 (米子市)

トラの咆哮の瞬間を、顔の下半分に注目して切り取り、迫力ある画面に仕上げています。



80's サマーバケーション

矢田 夏子 中2 (倉吉市)

80年代風のイラストレーション的作品。色あいも淡くまとめられ、しっかり描かれています。

教育長賞 「絵画・デザイン」



種飛ばし

末宗 とうこ 中2 (大山町)

水彩絵の具の使い方が上手です。ほのぼのとした光景が見るものをやさしい気持ちにします。



うちのイシガメ

盛山 琴花 中3 (琴浦町)

甲羅の描写、色づかい、意味のある余白などにより、愛らしさが引き立つ魅力ある作品です。



遠い星で

高梨 大和 中3 (境港市)

まだ見ぬ銀河の果ての世界とは…。作者の想像力と表現力を強く感じさせる作品です。

知事賞 「書写」



きじ

関 翔太 小1 (米子市)

点画のつながりと、文字の配置に気をつけ、ひらがな二文字を、集中して書き上げました。「し」の文字は、迷いなく筆を運び、最後のはらいに向かった墨の線も鮮やかで、余白も美しいです。墨をしっかりと筆に含ませ、穂先を整え書いた作品は、すっきりとした線に力強さが加わった、堂々とした作品になりました。

小筆を使った名前も、バランスよく書いてあり、素晴らしいです。

今後の成長を、楽しみにしています。

祝祭

野坂 律季 小6 (米子市)

「止め」「はね」「はらい」基本点画を意識し、二文字の線の太さと配置をしっかりと考え、「祝祭」を書き上げました。余分な墨を筆の穂先で調整し、文字の大小、左右のはらいをゆったりと仕上げ、画数の多い二文字でありながら、おおらかで作者の表現力の高さを感じます。作品を仕上げるために、試行錯誤した足跡が残るすばらしい作品です。

今後も、生活の中にある筆で書くことを楽しみ、さらなる成長を期待しています。



天上

山根 知夏 小3 (大山町)

基本の点画をしっかりと意識し、漢字二文字の字形を整え、作品「天上」を上手に仕上げました。墨をたっぷり筆に含ませ書かれた作品からは、文字ののびやかさと作者の作品への自信が、感じられました。

中学年になり、名前を紙面に書く際の配置に工夫がみられ、作品全体が引きしまりました。余白もすっきりしています。

今後も、毛筆で書くことを楽しみ、作品づくりに取り組んでほしいと思います。



知事賞 「書写」



伝承

片岡 彩希 中1 (米子市)

字形の異なる題材ですが、二字ともしっかりと捉えており、非常に整ったまとまりのある作品となりました。基本的な筆づかいはもちろんのこと、文字の大小や線の太細といった変化にも気を配って書いています。行書の作品でありながら重量感があり、力強く堂々とした作品に仕上がっています。



成就

田中 真由 中2 (米子市)

二字とも下に広がりやすい字形をしていますが、それぞれ上手にバランスを保ってまとめています。のびやかな筆づかいで書いており、はね、払いなどは穂先が紙を離れる最後まで意識して運筆したことが感じられます。腕を大きく動かし、筆脈を意識しながら書いた勢いのある作品です。



生命の尊重

河上 由依 中3 (大山町)

五文字という紙面に収めることが難しい題材でありながら、文字の大小を巧みに使ってバランスよく配置しています。一点一画を丁寧に、かつ繊細に表現しているながらも、いきいきとした線を書いており、自信溢れる作品に仕上げることが出来ました。名前も本文に引けを取らず、のびのびとした柔らかい線で、見ていてとても気持ちのよい作品です。





もみ

川崎 あおは 小1 (米子市)

力強い線で書かれていて、堂々とした作品です。名前もしっかりと書けています。



ほん

藤後 瑛心 小2 (大山町)

筆づかいがとても上手にできています。二文字の配置もすばらしいです。



こだま

白根 ゆずは 小2 (南部町)

どっしりした筆づかいで、三文字を紙面に上手に配置し、まとめました。



ともだち

清水 ミチル 小3 (境港市)

画の方向や曲がりに気をつけ、四文字を力強く書き、堂々とした作品となりました。

教育長賞 「書写」



水玉

原 歩乃佳 小4 (米子市)

文字の大きさや点画の方向を意識し、一画一画のびやかに書き、作品にまとめました。



天地

黒岩 莉穂 小4 (米子市)

画の方向と組み立て方、文字の大きさや強弱を意識して仕上げることができました。



主役

今岡 駿介 小5 (米子市)

二文字の配置がよく考えてあり、のびやかな線質で力強く作品に仕上げました。



星祭

宮木 菜乃 小6 (米子市)

文字の中心を意識して、バランスよく、のびやかな線で書かれた作品です。



発展

細田 結月 小6 (米子市)

文字の大きさ、点画の方向、強弱を意識し、一画一画ていねいに書かれた作品です。



天真

谷田 実和 中1 (境港市)

はらい、とめなど丁寧に筆圧を意識して書けています。点画の長短もよく見えています。



流星

今岡 莉子 中1 (米子市)

筆脈がしっかりと感じられます。穂先を使い、点画のつながりを美しく表現できています。



銀河

小早川 由羽 中2 (米子市)

偏とつくりのバランスを考えながら、かつ行書として正確にまとめています。

教育長賞 「書写」



福德

角森 彩織 中2 (米子市)

軽やかな運筆のリズムが素晴らしいです。
様々な筆圧を使い分けています。



筆法伝承

佐々木 由愛 中3 (米子市)

点画の書き方が正確で、リズムよく運筆
しています。四字のまとめ方も素晴らしい
です。



星群流美

榎野 可望亜 中3 (米子市)

行書の特徴をよく捉え、点画の方向や連
続、終筆の変化を的確に表現しています。

知事賞 「写真」



おとうととエイがにらめっこ

市橋 俊太 小1 (米子市)

少年のいたずらっぽい表情と、エイのとぼけた表情が笑いを誘います。見ているこちらでも何だか愉快になります。二つの主役のバランスがとても良く、水族館の雰囲気も好印象です。最高のシャッターチャンスでした。



しゃぼん玉と女の子

福田 萌々 小4 (鳥取市)

とても素敵な作品です。中央に目線を集めるかのように顔の真ん中に大きなしゃぼん玉。しかも女の子の顔もはっきり見えています。普通、邪魔になりがちな電線もこの作品に関しては、奥行きや情景描写のいいアクセントになっています。暮れかかるような空のグラデーションもいいですね。



ここだけの景色

伊藤 深雪 小5 (日吉津村)

夕日が沈む直前に現れるさまざまな色彩と、日常のかけがえのない瞬間を写真にとどめました。飛行機雲と対称をなす畦道のラインと、走る子どものシルエットが、画面に動きを与えています。郷里の風景や家族を大切に思う作者の心情が、作品と題名からよく伝わってきます。



い・も・う・と

安藤 花 中1 (大山町)

家の玄関や壁に階段、坂道といった幾何学的な形態を背に、堂々と立つ妹さん。モノクロ写真にしたことで、構図の良さが際立ちました。壁の深い黒色も、作品の迫力を強めています。妹さんの落ち着いた表情と佇まいが、人柄や存在感を十分に表現している点にも注目されます。



夜空に輝く華

木村 莉彩 中2 (米子市)

花火の写真は難しいのですが、大変上手く撮れています。暗い時間はピントが合わないことが多いのですが、この作品はきちんと合っていました。撮影技術に優れています。上段の大きい花火、中段の小さい花火、そして水上花火のすべてが揃った瞬間を画面いっぱいに切り取ったことで迫力ある作品となりました。水面の入れ方も工夫されておりバランスよく画面に収まっています。



My Sand Dune

太田 音寧 中3 (鳥取市)



他の作品にはない、作者だけの世界観を強く感じました。作者の心の内面を作り出しているような気がします。手で作った砂丘と背景の太陽のバランスもよく、手首の緑色の時計も効果的で、作品のアクセントになっています。タイトルのつけ方も上手で、この作品内容をよく表現できています。

教育長賞 「写真」



けむりはなびりゅう

亀尾 源 小1 (米子市)

花火の美しさ、それを楽しむ若者達の夏の情緒的な一夜を捕えた大人っぽい作品です。



カブトむしほかく大きくせん

牧田 葉歩 小3 (倉吉市)

大事そうに抱えた虫かごから、奮闘ぶりが目に浮かびます。無垢な可愛さが伝わります。



氷の仮面

濱田 かな 小4 (鳥取市)

発想の面白さと、画面いっぱい少年の圧倒的存在感が、ユーモラスでとても楽しい作品です。



さかさまの国へレッツゴー

谷口 朔 小6 (鳥取市)

きれいな逆立ちをうまく画面におさめました。躍動感のある斜めの構図の中に、楽しい遊びの世界を表現しています。

教育長賞 「写真」



3人で見たね！

井川 葉 中1 (米子市)

花火とハートの組み合わせや明るい色調が、三人の仲の良さと、祝祭的な雰囲気をよく伝えています。



夏の水風呂

野津 渚 中2 (安来市)

ユーモアあふれる瞬間を切り取りました。カピバラの顔もアヒル3羽の配置も素晴らしい。



じいさんに夏休みがやってきた

尾川 小都 中3 (倉吉市)

優しい気持ちとワクワクが伝わります。作品の中の二人を縦位置にしたことも良かったです。